

丹生山地南部 - ため池群・山ぎわの水田 -



典型的な山田



水草の豊富なため池

選 定 理 由 ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 59種（面積約5,000ha）

自然の概要	山ぎわ斜面から湧水がしみ出し、所々で水田や水路へ流れ込んで湿地を形成しています。このため、この良好な環境を利用する生物が比較的多く、山と水辺の両方を利用するアベサンショウウオをはじめ、山ぎわ斜面にはモウセンゴケ・レンゲツツジなどが、休耕田にはハッチョウトンボ、オオニガナなどが生息・生育しています。また、周辺が明るく水深の浅いため池にはヒシ、ヤマトミクリなどの水生植物や、トンボ類、ゲンゴロウ類などの水生昆虫が多く見られます。
保全すべき主な環境	ため池、山田（山ぎわの水田および休耕田） 小川（土水路） 雑木林
自然保護関係法の指定	宮崎鳥獣保護区（一部）

該当地の位置



里の生き物紹介 アベサンショウウオ(サンショウウオ目サンショウウオ科)

全長80～120mmの小型のサンショウウオです。12月から1月にかけて水路で産卵し、2月には卵からかえって、6月ごろまで水の中で育ちます。その後は上陸して森へと移動します。日本では、兵庫県～福井県の狭い範囲でしか見つかっていないため、種の保存法で国内希少野生動植物種に指定され、捕獲・採取・譲渡等が禁止されています。

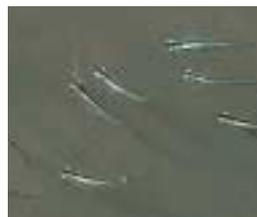
保全すべき環境に生息・生育している生物



アベサンショウウオ
県域絶滅危惧 類
山麓の林内に生息、湿地や休耕田の周辺で産卵



ヒツジグサ
県域絶滅危惧 類
腐食栄養または貧～中栄養の湖沼、ため池に生育



メダカ
県域絶滅危惧 類
池と沼、河川下流部の岸辺、水田とその用排水路に生息



ゲンゴロウ
県域準絶滅危惧
水生植物がある池や湿地・休耕田に生息



ハッチョウトンボ
要注目
日当たりのよい湧き水のある湿地や休耕田に生息